



# 日刊工業新聞

## Business & Technology

発行所 ©日刊工業新聞社 2002

本社 電話 03・3222・7111 千102-8181 東京都千代田区九段北1の8の10 大阪支社 電話 06・6946・3321 千540-0031 大阪市中央区北浜東2の16 西部支社 電話 092・271・5711 千812-0029 福岡市博多区古門戸町1の1

2002年(平成14年)

# 1 24

第18774号 木曜日

14版

エー・ピー・オス

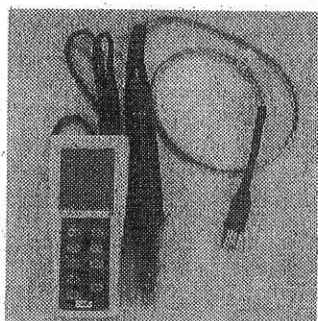
## 現場で不正軽油判定

### 成 簡易センサー開発

【川越】オー・エス・ピー 2の14、山本弘信社長、01(埼玉狭山市東三ツ木 42・968・2282)

は軽油に重油や灯油などを混ぜた不正軽油を判定できる軽油品質管理用の簡易センサー(写真)を開発した。検知プローブをサンプル油に浸すだけで、軽油に重油や灯油などが、どの程度、混和しているかを液晶デジタル表示できる。軽油引取税を脱税することなどを目的に不正軽油が大量に製造されているが、排ガスの有毒物質を増加させることから環境にも悪影響を与える。

全国の自治体では不正軽油を摘発するため、ディーゼル車の燃料である軽油の路上抜き取り調査を実施。しかし現場で抜き取ったサ



ンプルを持ち帰り、専門家に成分分析を依頼して判断しているため、費用と時間がかかる。そのため調査・分析にも限界がある。これに対し、今回の「軽油チェッカー Diesel Sens e」は、現場で大量のサンプルをチェックする1次スクリーニング用に利用でき、不正軽油と見なされるサンプルだけを分析すればよいので、不正軽油の調査・分析の効率化に貢献できる。

検知部には電氣を使用せず、検知ヘッドと表示ユニット本体間の信号の入出力を光ファイバーで行っているため、火花なども発生しない。ラボ用と野外用の2種類を用意。不正軽油業者に悪用されないように、近く自治体限定で販売を開始する。価格は未定。

大きさはラボ用が横92×縦146×厚さ33mm、野外用が横75×縦190×厚さ38mm、重量が650g。006P型のアルカリ乾電池で連続5時間使用できる。

## 中堅・中小企業・ベンチャー